

少人数だから、豊幌だからできる創意ある学校づくり

江別市立豊幌小学校長 岩 倉 隆

豊幌小学校は、東は岩見沢市、南は南幌町と接した閑静な住宅地と広々とした田畑の間に建っています。豊幌とは「豊かな幌向」という意味で、南幌は「南幌向」が元となっていることを地域の方からお聞きしました。

春には、ハクチョウが群れをなして青空を飛び、校舎の隣で田植えが始まります。夏には、祭りで町内が盛大に賑わいます。秋には、田畑の収穫が始まり、虫の声美しく響きます。冬には満天の空に星が美しく輝きます。

今年度、目指す子ども像を「知恵を出し合い、支え合い、最後までやりぬく、たくましい豊幌っ子」とし、重点指導目標を「今までの本校の取組を継続しつつ、活動を通じて表現力に磨きをかける」としました。

研究を通じて培ってきた話し合い活動や説明の仕方などは、教職員の共通指導事項となり、自分の考えを深めたり、広げたりするなどの成果を上げてきました。私は教室を空ける際に机を揃える・机の上をきれいにする・椅子を中に入れる、靴を揃えて並べるなど、全学級ができていることが本当に素晴らしいといつも感じています。それらを基盤とし、活動（授業、特別活動、学校行事等）を通して表現力を磨くことが目標です。決して「表現力を付ける」ではありません。

子どもたちは、本校を卒業し他校の小学生と一緒に中学校へ進みます。また、いずれは豊幌を出て社会でいきます。外国人とも対等に付き合っていかなければなりません。自分なりの考えを持ち伝え合うこと、いろいろな人と支え合って生きていくなどのコミュニケーション能力を身に付けることが必須です。重点指導目標の達成を目指し、このような力を身に付けさせたいと考えます。

今年度も、「少人数だから、豊幌だからできる、創意ある学校づくり」に努めます。よろしくをお願いします。